

宍粟市手話施策推進方針アクションプラン

進捗状況：R5.3時点

令和元年～令和5年



施策1: 手話に対する理解及び手話の普及を図るための事項

施策の方向性	手話教室を主として、目的や対象に応じた実施方法、プログラムを整備するとともに、市民に対して手話やろう者への理解を広く深めるための機会を創出する。
--------	--

施策	年度	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	現状
市内公立小中学校で手話教室を実施		関係部局協議・調整	未実施校への調査	未実施校へ実施依頼	市内全15校で実施(8割)	市内全19校で実施	周知・依頼等継続実施中。
必要性の高い学校に対する手話教室カリキュラムの作成及び複数回講座の実施		運営委員会との調整	複数回プログラム作成・見直し、教育委員会及び学校との調整		カリキュラムの見直し		カリキュラム作成済。カリキュラムについて随時学校と調整し対応している。
手話フェスタ(仮称)の開催		開催に向けた調整、視察	イベント開催	評価・検証 実施方法検討	検証結果を踏まえ実施 (実施有無を含め検証を行う)		R3実施済。 5年後の実施について検討が必要。
既存のイベントを活用した普及啓発活動		市内イベントの選定 ブースでの啓発方法の検討		実施状況の評価・検証、取組内容の変更・調整	旧町管内行事に 各1回出店		地域ごとのイベントに参加できていない。(開催中止)R5出店について依頼する。
商工会と連携した手話講習会の実施		商工会を通じて受講事業所の募集 会場等の実施方法の調整		評価・検証及びカリキュラムの調整	20事業所で実施		R4商工会、事業所等へ訪問依頼済。周知活動を継続する。
協力事業所の登録		協力事業所の役割、広報の検討 ステッカーの製作、登録方法の検討		ステッカー製作	評価・検証及びカリキュラムの調整	登録事業者の募集・ステッカーの配布	ステッカー等作成済。手話教室(事業者向け)のカリキュラム等作成を検討する。
宍粟市で手話検定を開催		開催に向けた準備・調整	実施方法の検討 周知(学校、市職員、事業所)		検定実施 受検者数10名	検定実施 受検者数20名	R4、4級・5級実施済。 R5実施に向け周知方法等検討する。

施策2: 手話による情報取得及び手話の使いやすい環境づくりに関する事項

施策の方向性	ろう者が自分たちの言語でコミュニケーションをとり、他者と交流するためのスペースを提供することで、情報交換や個人の自立、社会参加を高める。また、災害時等にコミュニケーションを円滑に行うための手法について先進事例などを研究し、栗市に適した支援の方法を模索する。
--------	--

施策	年度	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	現状
日中の居場所・交流スペースの提供		関係団体と意見交換実施	実施、運営方法について検討	評価・検証 試験的実施		交流スペースの設置・運用開始	R4イベント開催にあわせ試験的に実施済み。R5ろうあ協会と手話サークル連絡会と開催について調整する。
災害時や日常生活時に活用できるコミュニケーションボードの作成		災害時用ボード作成	関係機関調整 避難所担当者等に配布	【災害時】以外のボードについて検討	買い物用ボードの作成	買い物用ボードの配布	買い物用ツールとしてエコバック配布済。事業所設置については近隣市の状況等を調査したうえ検討する。
Net119緊急通報システムと連携した緊急通報対応訓練の実施		緊急時の派遣対応訓練の実施について西はりま消防組合と協議		訓練内容の評価(行政、当事者)、実施報告に基づく評価・検証	定期的な訓練の実施		R4登録説明会と併せ緊急通報の練習を実施済。R5消防組合と訓練実施について調整する。
Net119緊急通報システム利用登録に係る周知、申請サポート		説明会開催 運用開始 (R1.10.1)	説明会開催 マニュアル作成	西はりま消防組合と連携し利用登録説明会の実施 利用登録のサポートを実施			R4登録説明会を実施済。R5未登録者に対し、登録説明会を実施する。
ICTを活用した支援体制の調査、研究		導入市町の調査・視察 県内市町の実施状況及び運用方法について確認 国、法令等の動向を注視しつつ対応する			調査結果の評価・検証	次期プラン策定に合わせ取り組み案の提示	遠隔手話サービス導入済。調査結果の評価・検証未済。他のICT活用について検証する。

施策3: 手話通訳者の配置の拡充及び待遇改善など、手話による意思疎通支援者のための事項

施策の方向性	将来的な登録手話通訳者(士)の不足に対して、レベルに応じた段階的な養成講座を実施していく必要がある。また、手話施策の推進に伴い増加する業務量や職責に応じた雇用形態、人員体制の確保、整備を行っていく。
--------	---

施策	年度	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	現状
復習用テキストの作成・配布 手話教室学習後の復習を担う目的の内容で作成し、主に手話の単語などを掲載する。(広報で使用した素材を活用する。)		テキストの内容検討	パンフレットの作成	評価・検証及び内容の見直し 手話教室受講者へ作成・配布		修正版の作成・配布	復習用パンフレット未作成。教室の内容によってテキスト内容を検討する必要があることから、手話講師派遣運営委員会と協議する。
登録手話通訳者の養成		6名	登録者に対し意向調査を実施	8名	派遣活動調査の実施	10名	R4時点: 有資格者10名(登録者13名)
登録手話通訳者の有資格化		有資格者数7名 有資格率43%		有資格者9名 有資格率55%	基準登録者の増員に係る課題把握	有資格者数11名	
手話通訳士試験対策講座の実施		登録者の資格取得状況を確認 現行研修を継続して実施		登録手話通訳者のうち、手話通訳者資格取得率が50%以上となった時点で手話通訳士試験対策講座の開催を検討			R3に有資格者率50%以上となったため、手話通訳士試験対策講座を実施(R3~)。継続実施を予定。
資格に応じた派遣調整の区分化、明確化		現行ルールの整理(課題等)ルールの調整		事例検討会の開催(現任研修とは別)	内規改正派遣調整マニュアル等の作成	派遣状況、体制の評価、検証	登録者が減少しており、資格区分に応じた派遣が難しい状況となっているため、マニュアルは作成できていない。
けいわん検診受診率の向上		受診率向上に向けた方策の検討 全登録者に対して受診勧奨(個別通知、受診指導等)				けいわん検診受診率50%	検診費用を負担しているが、登録している他市町で優位な助成があれば、その市町の助成で検診を受けておられる。